

平成25年度

# 安芸高田市の「仕事目標」

平成25年5月

広島県安芸高田市

## 1. 趣旨

安芸高田市では、平成21年度より、部局横断的に情報の共有が必要な政策的かつ重点事業等について、幹部間における情報の共有と合意形成の確立を図るとともに、市長等からの指示により適切な事業執行を目指すことを目的に、幹部会議において当該事業の進捗管理を実施しています。

具体的には、年度当初に各事業の目標について、「何を（目標項目）」、「いつまでに、どうやって、どうする（達成目標）」かを定め、年間を通じて進捗状況を確認し、1年経過後には目標に対してどの程度執行できたかを評価しています。

本書は平成25年度、各部局が実施する全ての事務事業の中から、本年度、安芸高田市が取り組む主要な25事務事業について、設定された目標等をより明確に市民の皆さまにお示しするとともに、関連する総合計画（実施計画）を着実に実施するため策定するものです。

## 2. 対象事業

本年度、本書掲載の対象となった主要な25事業の事業名及び部局別、後期基本構想別の事業数は次の表のとおりです。

### （対象事務事業名）

No	対象事務事業名	No	対象事務事業名
1	新たな定員適正化計画の策定及び組織機構の見直し	14	第3セクター等運営指導事業
2	緊急情報伝達システムの確立	15	企業誘致促進事業
3	公共施設現況分析	16	住宅対策の充実(婚活・若者・定住促進支援事業)
4	生涯学習センター整備事業	17	幹線道路の整備(合併支援緊急道路の整備促進)
5	未来創造事業(PR事業・特産品強化事業)	18	幹線道路の整備(国道沿線活性化事業)
6	地域情報化推進事業(光ネットワーク整備・JA有線放送設備撤去・固定系防災行政無線設備等撤去事業)	19	水洗化の向上(下水道の整備)
7	環境基本計画実施事業(新エネルギー・省エネルギーの普及啓発事業)	20	未給水区域解消(水道の整備)
8	ごみ減量化対策(資源ごみ補助事業)	21	消防力の強化(消防救急無線デジタル化に伴う実施設計)
9	24時間保育の充実	22	学校規模適正化事業
10	市民総ヘルパー推進事業	23	学校耐震化推進事業
11	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	24	学力向上推進事業
12	農地利用対策事業	25	甲立古墳調査事業
13	地産地消推進事業		

(部局別、後期基本構想別事業数)

基本方針	主要施策	総務部	企画振興部	市民部	福祉保健部	産業振興部	建設部	消防本部	教育委員会	合計
快適で賑わいのあるまちづくり	個性あるまちづくりの推進									0
	定住と交流のネットワークづくり		1				2			3
	安全で快適な生活環境の創造	1					3	1		5
心豊かで創造性に富んだまちづくり	参加と協働によるまちづくりの推進									0
	子どもや女性が生き生きと活動する環境づくり									0
	生涯学習社会の形成		1						2	3
	文化・スポーツ・レクリエーションの振興								1	1
人と環境にやさしいまちづくり	人権が大切にされる地域社会の創造									0
	保健・医療の充実									0
	社会全体で支える福祉の充実				3					3
	環境との共生			2						2
多彩な生産と交流のまちづくり	産業の振興					3				3
	交流ネットワークづくり		1							1
計画の推進	総合計画の推進									0
	行政改革の実施					1				1
	効率的な行財政運営	2							1	3
	その他									0
合計		3	3	2	3	4	5	1	4	25

3. 実施期間

本書は、平成25年度の1年間を実施期間とします。

4. 進捗状況及び実績の検証

上半期が終了した時点での進捗状況、さらに、1年間の取組みが終了した後の実績(成果)等についてはそれぞれ取りまとめを行い、その内容を広報紙やホームページで公表します。

## 目 次

総務部の「仕事目標」	.....	P. 4
企画振興部の「仕事目標」	.....	P. 6
市民部の「仕事目標」	.....	P. 8
福祉保健部の「仕事目標」	.....	P. 10
産業振興部の「仕事目標」	.....	P. 13
建設部の「仕事目標」	.....	P. 15
消防本部の「仕事目標」	.....	P. 19
教育委員会「仕事目標」	.....	P. 20

# 平成25年度 総務部の「仕事目標」

総務部長 沖野 文雄

## はじめに

平成16年3月1日の新設合併により安芸高田市が誕生し、10年目を迎え新市建設計画に基づく大型事業が概ね完了しました。

平成26年度からは、合併の特例として旧町が存続しているとみなされ、交付されていた地方交付税の合併特例加算の減額が始まります。

また、合併後に人口は、約3,500人減少しており、今後10年間で更に同等以上の人口減が予測されます。

これらを踏まえ、分かりやすい組織や支所機能のあり方、人事管理面からの効率的運営について検討を行い、簡素で効率的な行政経営を行うための組織機構の見直しを行います。

公共施設の計画的な管理のために現況及び維持管理費用に関する調査を行い、長寿命化及び公共施設の再編計画に活用する基礎資料となる調査に着手します。

防災対策として、お太助フォンの供用開始と合わせて、全国瞬時警報システム（Jアラート）による緊急情報を瞬時に伝達するシステムを構築します。

## 【総務課】

### 1. 新たな定員適正化計画の策定及び組織機構の見直し

#### （事業概要）

合併以来、旧吉田町の職員数（109名）を上回る130名の職員削減（▲24.07%）による合理化を図りましたが、今後も民間活力の導入及び職員の能力を最大限引き出す方策を講じながら平成20年度策定の第2次職員適正化計画を見直した第3次職員定員適正化計画を策定し、更なる職員の適正配置等の内部管理を行います。

#### （目標）

平成25年12月までに、第3次職員定員適正化計画を策定し、組織機構の見直しに関する関連条例を12月定例会に上程します。

## 【危機管理室】

### 2. 緊急情報伝達システムの確立

#### （事業概要）

国から全国瞬時警報システム（Jアラート）を通じて送られてくる緊急情報を瞬時にお太助フォンに接続して伝達します。

#### （目標）

平成25年度末までに、システム構築による情報伝達体制を確立します。

## 【財産管理課】

### 3. 公共施設現況分析

#### (事業概要)

行政改革大綱に基づき、今後一層厳しくなる財政状況に対応するため、建物に係る公共資産を経営資源と捉え、経営的視点からマネジメントを行う観点から公共施設現状分析調査（概略）を行います。

#### (目標)

平成 25 年度末までに、公共施設の建設年度、構造及び建設費等を調査し、長寿命化を図るための大規模改修に伴う事業費の把握を行い計画的維持管理等の基礎資料とします。

## 平成25年度 企画振興部の「仕事目標」

企画振興部長 竹本 峰昭

### はじめに

安芸高田市は合併後10年目を向かえ、来年度からは、市の財源の根幹を成している地方交付税の減額が段階的に始まります。歳入の大幅な減少が見込まれる中、少子・高齢化という非常に大きな課題に対応するため、民間にできることは民間に積極的に移管・委託する等第二次行政改革を推進し、行政コストの縮減と行政サービスの維持向上の両立を図って行く必要があります。

こうした状況の中、企画振興部では、新市建設計画に掲げられた大型事業（向原町生涯学習センター整備事業、光ネットワーク整備事業等）を着実に仕上げるとともに、安芸高田市が活力を保ち発展できる「まちづくり」に繋がる施策（未来創造事業等）に重点的に取り組む一方、内部管理経費の縮減、民間への移管・委託の推進、歳入の確保など財政健全化計画・実施計画に基づき着実に事業推進してまいります。

### 【政策企画課】

#### 4. 生涯学習センター整備事業

##### （事業概要）

向原町の生涯学習・文化活動の拠点を確保するため、現存の若者センターを改修するとともに、ホール等の機能を有する施設を新築します。

##### （目標）

平成25年9月末までに完了させます。

#### 5. 未来創造事業（PR事業・特産品強化事業）

##### （事業概要）

地域資源である「毛利元就の歴史遺産」と「神楽」を活用した観光振興、地域振興に取り組むことで、交流人口や観光諸費額の増加及び定住人口減少の抑制を図ります。

##### （目標）

##### ①PR事業

本市が、神楽のメッカであることを内外にPRしていくため、高校生の神楽甲子園ひろしま安芸高田を7月に、また大都市公演や神楽シンポジウムを平成26年3月末までに企画実施します。

##### ②特産品強化事業

観光諸費額の増加をめざし神楽をテーマにしたお土産やグルメを平成26年3月末まで

に開発するとともに、「神楽がまちを元気にし、まちと観光客が神楽を元気にする」循環型の取組み体制を構築します。

## 【情報政策課】

### 6. 地域情報化推進事業（光ネットワーク整備・J A有線放送設備撤去・固定系防災行政無線設備等撤去事業）

#### （事業概要）

光通信を利用したブロードバンド環境の充実とともに、市民のみなさまの安心・便利な暮らしをサポートすることを目的として、各世帯にお知らせ端末を配備します。

- ① 甲田町・向原町地域の光ネットワーク引込線, 宅内配線工事, お太助フォン設置を行います。
- ② J Aから有線放送設備の無償譲渡を受け、市において撤去します。
- ③固定系防災行政無線設備及び無線アクセス設備を撤去します。

#### （目標）

- ① 平成25年9月末までに工事を完了し、市全体としてお太助フォン加入率83%以上、インターネット加入率27%以上を目指します。
- ②平成27年3月までに撤去します。
- ③平成26年3月までに撤去します。

## 平成25年度 市民部の「仕事目標」

市民部長 新川 昭夫

### はじめに

市民部では、市民の皆さんの日々の生活を通じて、そのニーズに即座に対応できるよう日々業務の研鑽に励み、よりサービスの向上に資するための事業の展開を図ります。

窓口サービスにおいては、ワンストップ窓口業務の定着化を図り、更なる業務サービス向上と経費削減に努め、委託業務の検証と業務拡大の検討を進めます。

財政面から、財政健全性の確保・維持を図るため、市民税等の徴収業務の徹底と滞納整理の取り組みの継続を維持し、市民の皆さんの理解を得ながら、自主財源の確保に努めます。

環境対策では、自然エネルギーである太陽光発電設備の補助を通じた省エネ普及や再生可能エネルギーの市内に存する資源の活用に向けたエネルギービジョンの策定を通して、自然エネルギーの理解を広げその有効活用策を探ります。

ごみの減量化を目指した取り組みとして、地域の協力を得て、ごみの資源化や再利用などごみ処理量の減量と市民のごみに対する削減意識の拡充を進めます。

安心して暮らせる環境づくり、ひとづくりの観点から、結婚サポート事業の継続をし、外国人市民に対する多文化共生の推進をはじめ、あらゆる機会を通じて人権尊重や男女共同参画・青少年育成などの啓発活動を実施し、誰もが暮らしの中で生き生きと暮らせるまちづくりを目指します。

### 【市民生活課】

#### 7. 環境基本計画実施事業（新エネルギー・省エネルギーの普及啓発事業）

##### （事業概要）

- ①再生可能エネルギー利用促進の観点から、太陽光発電機器の設置を促進します。
- ②新エネルギーとして、市内に存する再生可能エネルギーの継続調査を実施します。

##### （目標）

- ①太陽光発電機器の設置数を個人住宅100世帯、事業所10箇所を目指します。
- ②エネルギービジョンの策定を通して市独自の活用に向け検討・検証を行います。

項目		平成23年度	平成24年度	平成25年度
住宅用太陽光発電システム設置数(個人住宅)	目標	50件	50件	100件
	実績	106件	110件	件
事業所用太陽光発電システム設置数(事業所)	目標	—	—	10件
	実績	—	—	件

※事業所用太陽光発電システム設置補助事業は、平成25年度からの新規事業

## 8. ごみ減量化対策（資源ごみ補助事業）

### （事業概要）

- ① 芸北きれいセンターに持ち込まれるゴミ処理量を前年度より削減するため、地域の資源ごみ（古紙・アルミ缶・スチール缶・ペットボトル・廃食油）の地域団体による回収を促進します。
- ② ごみの減量を図るため、生ごみ処理機を普及し、事業所系一般廃棄物の排出削減のための啓発と資源化を図ります。
- ③ きれいセンターや北広島町との連携を強化します。
- ④ ごみの資源化を促進するためモデル地区を定め、分別項目の増加を目指します。

### （目標）

- ① 地域団体による回収量 820 t を目指します。
- ② 生ごみ処理機 50 台の普及を目指します。

項 目		平成 2 3 年度	平成 2 4 年度	平成 2 5 年度
資源ごみ回収量	目標	8 5 4 t	8 9 6 t	8 2 0 t
	実績	7 9 7 t	7 8 7 t	t
生ごみ処理機	目標	5 0 台	5 0 台	5 0 台
	実績	3 2 台	3 5 台	台

## 平成25年度 福祉保健部の「仕事目標」

福祉保健部長 武岡 隆文

### はじめに

少子高齢化が急速に進展する中、本市では、「自助・共助・公助」を基調とした『市民総ヘルパー構想』を提唱し、諸施策を推進していますが、とりわけ、地域住民がお互いに支え助け合う「安心生活創造事業」では、地域で日常的に支援が必要な一人暮らし世帯や高齢者・障害者世帯等に対する安否確認や買物支援など、生活をサポートする中心的役割を担っていただく「生活・介護サポーター」の養成研修を引き続き実施するとともに、本事業の更なる充実と市民への浸透を図ってまいります。

健康対策については、生活習慣の乱れ等に起因する生活習慣病が年々増加していることから、市医師会やJA吉田総合病院、広島大学とも連携し、生活習慣病の重症化を防止する「市民健康倍増事業」に取組み、市民の健康意識の高揚と医療・介護等に要する経費の削減に努めてまいります。

少子化・子育て支援対策については、子育て支援センターでの一時預かり・病後児預かり並びにファミリーサポート事業の充実を図るとともに、児童クラブの待機児童解消のため、美土里地域に一箇所児童クラブを増設します。

子どもの医療費助成につきましては、本年度から助成対象を0歳から小学校卒業までを中学校卒業までに拡大し、子育て世代の負担軽減を図ってまいります。

公立保育所の運営については、本年度から保護者ニーズに則して「土曜日終日保育」を各町1保育所で試行実施します。また、少子化の進行に伴う保育への影響等も考慮し策定した「市保育所規模適正化推進計画」に定める各小学校区1保育所を基本とした適正配置や指定管理者制度の導入等についても具体化してまいります。

あわせて、平成26年4月開園予定の民間保育所（仮称）向原こぼと保育園については、保育の引継ぎなど円滑な民間移管に努めてまいります。

障害者対策については、本年4月から障害者総合支援法が施行されたことや広島県からの事務権限移譲などにより業務も複雑多様化してきており、特に相談業務については虐待をはじめ多岐にわたる各種相談に迅速かつ総合的に対応できるよう「障害者基幹相談支援センター」の設置を推進してまいります。

## 【子育て支援課】

### 9. 24時間保育の充実

#### (事業概要)

- ① 平成23年3月に策定した『安芸高田市保育所規模適正化推進計画』に基づき、公立保育所の適正配置並びに民間活力の活用による指定管理者制度の導入等について、検討を行います。
- ②ファミリーサポート事業の協力者を増やし、24時間保育を支援します。

#### (目標)

- ① 課題などの抽出を行い、基本方針を決定し、必要な手続き等整備を図ります。
- ② 制度の周知と、会員登録の積極的な依頼、勧誘を行い、提供会員15%アップを目指し、サービスの充実を図ります。

## 【保健医療課】【高齢者福祉課】

### 10. 市民総ヘルパー推進事業

#### (事業概要)

地域の共助を原動力として、市民に広く介護技術、介護知識の普及を図り、地域全体での介護力の向上を図ります。

#### (目標)

- ① 生活習慣病患者を対象に、重症化を防止するための個別支援プログラムを実施し、当該患者の自己管理能力の向上と医療費の適正化を図ります。
- ② 若年世代からの生活習慣病を予防するため、小・中学生を対象とした若年性生活習慣病重症化予防事業計画を平成26年3月末までに策定します。
- ③ 湧永庭園ウォークや健康あきたかた21市民ウォーキングの開催、並びに『あるきんさい・動きんさい運動』を推進し、市民の運動習慣の定着と健康づくり意識の高揚を目指します。

#### (目標)

- ・湧永庭園ウォーキング 参加者 1,000名
  - ・市民ウォーキング 参加者 250名
  - ・あるきんさい・動きんさい運動 達成者 100名
- ④生活・介護サポーター養成講座を開催し、本年度50名の生活・介護サポーターを養成します。

項目		平成23年度	平成24年度	平成25年度
生活・介護サポーター養成数	目標	150人	100人	50人
	実績	86人	38人	人
家族介護教室の開催	目標	300人	300人	300人
	実績	373人	335人	人

## 【高齢者福祉課】

### 11. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

#### (事業概要)

地域包括支援センターの運営について、民間委託に向けた具体的な手法、必要な手続き等について検討を行ないます。

#### (目標)

民間委託について、平成26年3月までに基本方針を決定します。

## 平成25年度 産業振興部の「仕事目標」

産業振興部長 清水 勝

産業振興部特命担当部長 小田 忠

### はじめに

産業振興部は、将来に向かって持続できる地域づくりのために、地域を支えている様々な産業についての振興策を推進しています。

農林水産業や商工観光業等はいへん厳しい環境下にあります。関係団体等との連携のもと、それぞれの産業の基盤整備、地域の将来についてのプランづくりの推進、担い手育成、地場産野菜の販路拡大、第3セクターの業務見直し、企業誘致の促進等、役割分担を明確にして事業推進してまいります。

本年度はそれぞれの事業を確実に推進するため、積極的に市民の皆様や地域の意見を聞くことに努め合意形成を図ることにより、目標の達成に職員一丸となって取り組みます。

### 【地域営農課】

#### 12. 農地利用対策事業

##### (事業概要)

地域における農業の担い手を確保し、担い手への農地集積により「人と農地の問題」を解決するため、地域での話し合いと「人・農地プラン」の作成を推進します。

##### (目標)

- ①集落等での説明会により担い手の特定と地域内での合意形成を促進します。
- ②平成26年3月末日までに新たに20地区の「人・農地プラン」の作成を行います。

#### 13. 地産地消推進事業

##### (事業概要)

地産地消行動計画実施計画に基づき、学校給食の担当者やJA等関係機関との連携により、給食センターの地場産品使用率並びに地産地消率の向上を目指します。

##### (目標)

- ①市、給食センター、JAの担当者による定例的な会議を開催し、情報共有と地場産率向上のための方策について検討を行います。
- ②給食センターの地場産野菜の使用率について、年間30%（重量ベース）を目指します。

## 【商工観光課】

### 14. 第3セクター等運営指導事業

#### (事業概要)

第3セクターの経営環境の改善を図るため経営指導・助言を行います。

#### (目標)

財団法人八千代開発公社について、業務内容を見直し、運営の効率化と機能強化を行います。

### 15. 企業誘致促進事業

#### (事業概要)

安芸高田市への企業誘致活動を進めます。

#### (目標)

ふるさと応援の会などを活用し、企業経営関係者等との連携を強化し、企業誘致活動を行います。

## 平成25年度 建設部の「仕事目標」

建設部長 西原 裕文

### はじめに

定住と交流のネットワークづくりを目指すため、広域幹線道路網整備と併せ、市内6町を環状的、放射的に連絡する道路網整備の促進を図ります。また、道路利用者の安全性や利便性を高め、地域防災拠点や地域振興に繋がる「道の駅」の整備を進めます。

また、安全で快適な生活環境の創造を目指すため、住宅団地の分譲・住宅リフォーム事業・空家バンク制度などにより子育て・婚活定住促進を図ります。また、下水道の整備により水洗化の向上を図り、水道施設の整備と水源調査により、未給水区域の解消と給水区域の拡充を図ります。

建設部では上記仕事目標方針に基づき、本年度中に取り組む目標を下記のとおり定め、所管職員一丸となって目標の達成に取り組めます。

### 【住宅政策課（市民部市民生活課）】

#### 16. 住宅対策の充実（婚活・若者・定住促進支援事業）

##### （事業概要）

- ① 子育て・婚活世代への支援として、向ヶ丘・上甲立・えのきの子育て・婚活定住促進団地の分譲を行います。
- ② 空家バンクの制度を広報誌等で制度内容を再周知することや、不動産関係業者等と連携することにより、登録物件の充実と活用推進を図るとともに、管理の効率化を図ります。
- ③ 結婚の支援並びに結婚を希望する男女の出会いの機会の創出のため、魅力アップセミナーと交流イベントを開催します。

##### （目標）

- ① 8区画の分譲を行います。
- ② 空家バンク新規登録物件5件以上を目指します。
- ③ 結婚成立カップル3組以上を目指します。

【建設課】

17. 幹線道路の整備（合併支援緊急道路の整備促進）

【東広島高田道路】

（事業概要）

項目	事業概要	～平成24年度	平成25年度
用地補償	吉田側全体	・用地 118筆 ・建物 22戸	・用地 117筆 ・建物 21戸
	正力側全体	・用地 87筆 ・建物 4戸	・用地 85筆 ・建物 4戸

工 事	～全体 (L=4.5km)	(吉田側)	(吉田側)
	・吉田～正力 L=3.2km ・トンネル L=2.1km ・橋梁 L=175m	・トンネル明かり部 ・橋梁工(橋台) (正力側) ・土石流防止施設	・橋梁下部工 ・側道工事 (正力側) ・側道工事

（目標）

地域高規格道路東広島高田道路の早期の完成を目指し、広島県と連携を密にして着実に事業を推進します。

【一般県道原田吉田線】

（事業概要）

項目	事業概要	平成24年度	平成25年度
用地補償	第2期工区 L=700m 用地測量・用地買収	第1期工区 用地取得(1名)	第2期工区 用地測量・用地買収
工 事	～全体 (L=2.7km) 第1期工区 L=900m 第2期工区 L=700m	土工、水路工 測量設計・地質調査 業務(第2期工区)	第1期工区 土工

（目標）

一般県道原田吉田線の改良事業については、広島県と連携を密にして着実に事業を推進します。

18. 幹線道路の整備（国道沿線活性化事業）

（事業概要）

可部バイパス、尾道松江線の開通を見通して、国道54号沿線の魅力を高めるため、国土交通省と連携し、休憩機能、情報発信機能、地域連携機能の基本機能に加え、サービスの充実、防災拠点機能等多機能を備えた「道の駅」の整備を図ります。

(目標)

地域振興施設の基本設計、施設運営計画を策定するとともに、用地調査を行います。

## 【上下水道課】

### 19. 水洗化の向上（下水道の整備）

(事業概要)

下水道等排水設備設置普及促進補助金交付制度の活用と併せて、下水道等の加入促進を図り、生活環境を改善します。

(目標)

市全体の下水道の普及を図り、水洗化率の向上を目指します。

(事業別水洗化率)

項目		平成23年度	平成24年度	平成25年度
公共下水道事業	目標			66.7%
	実績	53.7%	63.9%	
特定環境保全公共下水道事業	目標			81.7%
	実績	76.0%	79.5%	
農業集落排水事業	目標			79.5%
	実績	77.0%	78.2%	
コミュニティ・プラント整備事業	目標			71.0%
	実績	72.8%	71.0%	
浄化槽整備事業	目標			50.5%
	実績	48.0%	49.4%	
合計	目標			63.3%
	実績	58.8%	61.8%	

### 20. 未給水区域解消（水道の整備）

【美土里町横田地区】

(事業概要)

美土里町本郷簡易水道事業に隣接する横田地区の水道未普及地域の解消のため、区域拡張事業を推進します。

項目	事業概要	平成24年度	平成25年度
美土里町本郷・横田地区	美土里町本郷簡易水道区域拡張事業 計画給水人口930人の整備	<ul style="list-style-type: none"><li>・事業認可</li><li>・水道施設実施設計</li><li>・用地取得</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・水道施設の詳細設計</li><li>・水道施設の整備 (水道管の布設工事) (水道施設の建設)</li></ul>

(目標)

- ・施設の詳細設計を行い工事を推進します。

**【甲田町山田地区】**

**(事業概要)**

山田地区の水道未給水区の解消のため、配水施設を整備します。

項目	事業概要	平成24年度	平成25年度
甲田町山田地区	甲田上水道事業 計画給水人口90人の 整備	・配水施設の実施設計	・ポンプ施設1ヶ所の整備 ・配水管布設工事

**(目標)**

ポンプ施設1ヶ所の整備と配水管の布設工事を推進します。

**【水源調査】**

**(事業概要)**

未給水区域解消のための水源の調査を行います。

**(目標)**

水利権のある水源の利用検討、及び既設水源(地下水等)の調査を行います。

## 平成 25 年度 消防本部の「仕事目標」

消防長 久保 高憲

### はじめに

市民の皆様の生命、身体、財産をあらゆる災害や事故等から保護するため、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、高齢社会の進展等により救急出動の需要が増加の一途をたどる中、救急業務の高度化に対応するための救急体制の充実強化等を図り、安全で、安心なまちづくりを目指し消防職員一丸となり災害対応及び被害の軽減に取り組んでまいります。さらに、消防団との連携を緊密にし、消防職員・消防団員が車の両輪のごとく活動できるよう万全の体制で対応してまいります。

### 【消防課】

#### 21. 消防力の強化（消防救急無線デジタル化に伴う実施設計）

##### （事業概要）

電波利用の増大を背景に、電波法関係審査基準が平成 15 年 10 月に改正され、アナログ方式（150MHz）の消防・救急無線の使用期限が平成 28 年 5 月末までとなり、当該期限までにデジタル方式（260MHz）への関係設備の整備が必要となりました。

##### （目標）

平成 24 年度の基本調査に基づき、平成 25 年度に実施設計を実施します。

項目	平成 25 年度	平成 26 年度
消防救急無線デジタル化	実施設計	整備

## 平成25年度 教育委員会の「仕事目標」

教育次長 沖野 和明

### はじめに

安芸高田市教育委員会では、平成22年度に『「安芸高田市教育振興基本計画」～「安芸高田・みつや協育」の推進～』を策定しました。

「夢と志をもち あしたを拓く 心豊かな人づくり」を基本目標とする「安芸高田・みつや協育」を展開し、

1. 国際化・情報化する21世紀の知識基盤社会の要請に応える主体的で自立した人材の育成
2. 確かな学力と豊かな感性を備えた、健康で心豊かな人材の育成
3. 郷土を愛し、地域の自然や文化を深く理解し、郷土の発展・成長に貢献する人材の育成

を具現化するため、平成25年度中に取組む主要事業を次のとおり定め、所管職員一丸となって目標の達成に取り組みます。

### 【教育総務課】

#### 22. 学校規模適正化事業

##### (事業概要)

引き続き丁寧な説明を行い、保護者・地域の理解を得た小学校統合区から、準備委員会を設置し、具体的な協議を始めます。

##### (目標)

遠距離児童対策・放課後児童対策など具体的な統合基本原案を提示し、平成25年10月末までに、4小学校統合区のうち2統合区において準備委員会を設置し具体的な協議にはいります。

#### 23. 学校耐震化推進事業

##### (事業概要)

- ・可愛小学校屋体、小田小学校屋体、小田東小学校屋体の耐震補強工事を行います。

##### (目標)

・平成25年度末で、小中学校施設の耐震化率を95%にします。小学校の規模適正化計画において、廃止となる小学校校舎を除き、全ての棟の耐震化を完了します。

## 【学校教育推進室】

### 24. 学力向上推進事業

#### (事業概要)

学習補助員（小・中学校）を設置基準に基づき配置し、きめ細かな指導体制を整備し、基礎基本の学力向上を定着させます。

#### (目標)

平成26年6月に実施される広島県「基礎・基本定着状況調査」における通過率60%以上の児童生徒の割合を、下記数値以上にします。

小学校・国語 90%      小学校・算数 94%

中学校・国語 88%      中学校・数学 80%      中学校・英語 80%

## 【生涯学習課】

### 25. 甲立古墳調査事業

#### (事業概要)

市史跡の甲立古墳は、県内4世紀後半の前方後円墳では最大級を誇っており、現在、数年にわたり調査を行い、国指定に向けて準備を進めています。

#### (目標)

・甲立古墳の国史跡指定申請に伴う確認調査を完了させます。併せて出土遺物（埴輪等）の保全を図るため取り上げを行い・復元・公開を行います。

平成25年度 安芸高田市の「仕事目標」  
平成25年5月 策定

広島県安芸高田市企画振興部行政経営課  
〒731-0592 広島県安芸高田市吉田町吉田 791 番地  
TEL 0826(42)5623 FAX 0826(42)4376  
<http://www.akitakata.jp/> E-mail. [gyoseikeiei@city.akitakata.lg.jp](mailto:gyoseikeiei@city.akitakata.lg.jp)